

歴史都市防災シンポジウム'09

日時：2009年6月20日（土）9:30～20:00

場所：東本願寺

<http://www.tomo-net.or.jp/cere/access.html>

主催：立命館大学グローバルCOE 歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点

立命館大学 歴史都市防災研究センター

参加費：無料（ただし、交流会の参加には5,000円必要です。）

申し込み：不要（ただし、交流会は事前申し込み制。後日、連絡します。）

プログラム：

	時間	場所	セッション		
セッション1	9:30 - 11:30	宗務所 3F	A1. 防災技術(1) (6編)	B1. 防災技術(4) (6編)	C1. 防災計画と政策 (1)(6編)
休憩	11:30 - 12:30				
セッション2	12:30 - 14:10	宗務所 3F	A2. 防災技術(2) (5編)	B2. 歴史災害 (5編)	C2. 防災計画と政策 (2)(5編)
休憩	14:10 - 14:40				
総合セッション	14:40 - 16:30	視聴覚ホール	第1回文化遺産防災アイデアコンペティション 公開講評会(7作品)		
休憩	16:30 - 16:50				
セッション3	16:50 - 18:10	宗務所 3F	A3. 防災技術(3) (4編)	B3. 文化遺産 の脆弱性 (4編)	
休憩	18:10 - 18:30				
表彰式	18:30 - 19:00	渉成園	コンペティションの表彰と総評		
交流会	19:00 - 20:00	(枳殻邸)	交流会		



本シンポジウムは、土木学会継続教育認定プログラム（JSCE09-0067）です。

建設系CPD協議会のホームページにも掲載されており、日本建築学会など各種団体で相互承認可能な場合がありますのでご確認下さい。<http://www.cpd-ccesa.org/>

A1 防災技術(1) 9:30-11:30

座長：須田 達

1. 文化財の転倒防止に用いる耐震マットの振動特性に関する考察
岸 祐介, 伊津野和行, 土岐憲三
2. 準定常的な計算による都市火災延焼性状の簡易予測モデルの開発
地震火災時の都市住民避難性状の推定に関する研究
西野智研, 円谷信一, 樋本圭祐, 田中哮義
3. 伝統的構法による実大木造建物の振動台実験
向坊恭介, 大橋好光, 清水秀丸, 堀川恵巳子
4. 歴史的木造寺院で用いられた古材の圧縮特性に関する実験的研究
大岡 優, 棚橋秀光, 伊津野和行, 土岐憲三
5. 伝統木造接合部の復元力特性に関する基礎研究
- 画像解析を用いた木材めり込み時の大ひずみ計測法 -
遠藤俊貴, 青野翔, 荒木慶一
6. 伝統木造建築物の崩壊シミュレーション
棚橋秀光, 鈴木祥之

A2 防災技術(2) 12:30-14:10

座長：伊津野和行

1. 「杢の内」を持つ古民家の常時微動観測
三辻和弥, 永井康雄, 佐々木達夫
2. 東本願寺御影堂の耐震補強による振動特性の変化
新田祐平, 向坊恭介, 鈴木祥之, 川瀬 博
3. 京都府北部における伝統構法木造住宅の耐震性能
須田 達, 田中康太郎, 鈴木祥之
4. 金沢市域の伝統木造建築物の耐震調査
- 東茶屋街・主計町の場合 -
河原 大, 後藤正美, 須田 達, 鈴木祥之
5. 伝統的木造町家建築の地震被害と構造性能評価
佐藤弘美, 藤田香織

A3 防災技術(3) 16:50-18:10

座長：酒匂一成

1. 与謝野町字加悦の伝統木造住宅地域における住民の防災意識調査
有山睦美, 鈴木祥之, 須田達, 小澤雄樹
2. レーザー計測に基づいた伝統木造建築物のCADデータ作成手法
下川雄一, 鈴木祥之, 須田 達
3. Improved GPS-free Ad-hoc Network Positioning
for Urban Disaster Response
Pham Doan Tinh and Makoto Kawai
4. 無線センサネットワークの斜面防災への適用に関する実験的研究
平井一弘, 里見知昭, 酒匂一成, 深川良一

B1 防災技術(4) 9:30-11:30

座長：里深好文

1. 清水寺敷地内斜面における地盤調査結果

酒匂一成，深川良一，安川郁夫，里見知昭，Bui Hong Ha，仲矢順子

2. 文化財後背斜面の崩壊予知のための超音波を用いた
土中水分状態モニタリング法の開発

須田剛文，平井一弘，田中克彦，酒匂一成，深川良一

3. 降雨時斜面の崩壊危険度評価における現地計測システムの効率化

- 京都市東山区の重要文化財後背斜面を対象として -

里見知昭，酒匂一成，石田優子，安川郁夫，深川良一

4. 城郭石垣の耐震安全性に関する基礎的研究

池本敏和，宮島昌克，村田 晶，北浦 勝，清野純史，古川愛子，鈴木祥之

5. 文化財地区の消火用水道管路の耐震性評価

鎌田泰子，山崎修一，高田至郎，土岐憲三，砂坂善雄

6. 数値シミュレーションを用いた文化財が存在する
山麓地域における土石流災害防止に関する検討

中谷加奈，和田孝志，里深好文，水山高久

B2 歴史災害 12:30-14:10

座長：岡田篤正，片平博文

1. 1999年台湾921地震による豊原・台中付近の地震災害と地形

植村善博

2. 歴史的建築総目録データベースを用いた地震被害調査

- 2008年6月14日岩手・宮城内陸地震を例に -

永井康雄，月舘敏栄，角 哲，崎山俊雄

3. 1938年阪神大水害における被災社寺の空間的特徴

谷端 郷

4. 滋賀県愛知川の水害史と水害防備林

土田洋一

5. 大正期の京都における火災の分布

- 京都日出新聞記事のGIS分析 -

朝田健太，塚本章宏，吉越昭久

B3 文化遺産の脆弱性 16:50-18:10

座長：李 明善

1. 市街地を流れる歴史用水の都市防災力評価

- 鞍月用水と大野庄用水を対象として -

村田 晶，富永 勇，池本敏和，宮島昌克，北浦 勝

2. 世界遺産暫定候補「軍艦島」の上陸見学用整備と台風時脆弱性

後藤恵之輔

3. カトマンズ渓谷の伝統的集落ブンガマティの変容と脆弱性の増大に関する研究

ロヒト・ジグヤス，板谷直子，李 明善，益田兼房，山崎正史

4. 地震帯における世界文化遺産の危機に関する国際的認識の重要性

益田兼房，金 玟淑，メンドサ島田オルガ恵子，板谷直子，李 明善

C1 防災計画と政策(1) 9:30-11:30

座長：鐘ヶ江秀彦

1. GISを用いた市街地火災延焼リスク評価システムの
入出力データ管理手法に関する検討

横山昇平，樋本圭祐，田中哮義

2. Web-GISを用いた文化財の防災用情報検索・交換システム

池田典史，長嶋文雄

3. 大阪市における寺社境内の分布特性・形態的特性と
避難空間としての寄与に関する研究

井上僚平，武田史朗，及川清昭

4. 文化遺産防災に対する社会的着目度と観光資源としての
文化遺産の評価に関する考察

小川圭一，曾根幹人，鈴籬彰大，塚口博司

5. 世界文化遺産タイ・アユタヤにおける水害に対する
認識と観光価値の定量的分析の試み

水田哲生，チャイワン・デンパイブーン，大槻知史，鐘ヶ江秀彦

6. CVMによる災害発生後における歴史的景観復興の経済評価

- 京都市における事例分析 -

村中亮夫，中谷友樹

C2 防災計画と政策(2) 12:30-14:10

座長：小川圭一

1. 歴史都市における道路機能障害の推定

塚口博司，小川圭一，田中耕太，本郷伸和

2. 緊急避難場所として千本釈迦堂を開放した場合の
避難経路の短縮による地域の安全確保に関する研究

豊田祐輔，大槻知史，鐘ヶ江秀彦

3. 地域防災力向上を目指した住民ワークショップの効果に関する研究

～篠山市・美山町の重伝建地区を対象として～

石井隆之，大窪健之，寺田佳高

4. An Influence of Social Network on Knowledge
Transferring in Flood Mitigation and Preparedness:
A case study of Waju Area, Ogaki City, Gifu Prefecture

Hirunsalee Siyanee, Janmaimool Piyapong, Yusuke Toyoda,
Tetsuo Mizuta and Hidehiko Kanegae

5. 津波常襲地域における文化遺産の防災拠点化および自主防災活動の充実に向けた提案

- 高知県須崎市西糺町を対象として -

岡崎風時，大窪健之